

国有林のPR — 四角岳登山道の整備について —

三戸営林署 ○ 橋爪 一彰
松尾 亨
田村 正義

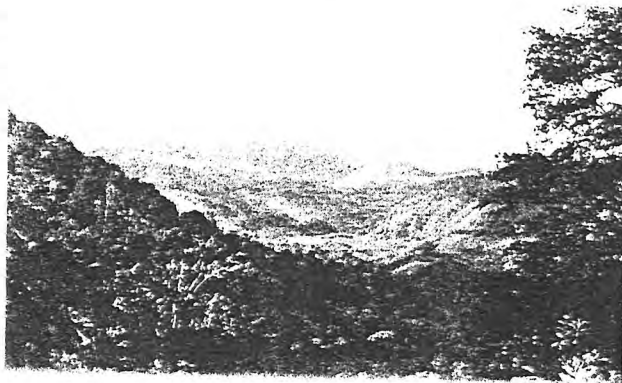
1 課題をとりあげた背景

当署管内は、八戸市他10市町村で、その面積は青森県土の13%を占め人口も22%と高い割合を示している。国有林は五戸川、浅水川、馬淵川の主要河川源流域に位置し、農・工業地域を抱え果たすべき役割は多大なものがある。また国有林に対する要請も多様化している。しかし、森林とのつながりの少ない都市住民の、国有林野事業に対する理解は十分ではない実態にある。

このようなことから一般の幅広い理解を得るため、地域活動に率先して参加し大きな成果を上げてきた。今回こうした取組みの中から四角岳を取り上げたものである。

四角岳は標高1003mで、青森・岩手・秋田の三県にまたがる分水嶺として知られ、頂上にはニッコウキスゲ・サワラン等が生育する高層湿原があり、早くから登山道の整備が待たれていた。

登山道整備は田子町と歩調を合わせるにより具体化され、受託事業として実施したものであり、登山道・既設林道・駐車場の整備・案内板の設置等を行い、10月15日田子町と共催で記念登山を実施した。地元ケーブルTVを始め新聞などが取り上げ、四角岳に新たな注目が集まり、今後の入山者数はかなりの増加が予想される。



〔三県に跨がる四角岳遠望〕

一方これにともなうゴミの増加、高山植物の盗採等の具体策は講じられていない。

本研究では、記念登山開催までに至る登山道整備の状況の検証を踏まえた上で、今後の四角岳に関する対策を検討する。

2 研究の方法および経過

(1) 登山道整備事業の内容及びその実施状況。

①登山道新設状況、受託内容

既設林道から 延長3,500m 標高差450m 傾斜平均 13% 受託契約額 50 万円

②受託されるまでの経緯

平成4年以前 八戸山友会(会員450名)他、から登山道の有無の問い合わせ

〃 5年前期 森林官を中心に現地踏査

〃 5年後期 林政懇談会(田子町)で登山道新設要望

③登山道入口までの既設林道約6kmの敷砂利補修、及び駐車場整備

⑤主要林道分岐点への標識設置、登山道の標識整備

(2) 記念登山

- ① 参加者 80 名
(駐車場の関係から地元山岳会と関係者に限定し案内した。)
- ② セレモニー及び記念品の準備
- ③ 森林インストラクターによるガイド、頂上での説明
- ④ 登山道入口までの配車



〔鉦によるワラ束カット〕

(3) 記念登山参加者の四角岳に対する意識調査のためアンケート調査。

3 研究の結果 (アンケート調査から)

(1) ◆ 四角岳の魅力

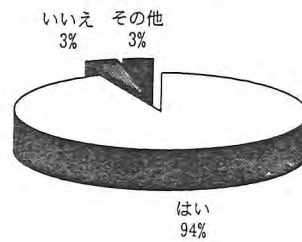
□ 三県にまたがる山として価値が有る/ 頂上での360度パノラマ、岩木山・岩手山など有名な山が展望出来る/ 頂上の高層湿原と高山植物/ 俗化されていない/ タケノコが豊富 / きつい山でないから気軽に登山できる □

(アンケート調査から)

◆ また四角岳に登りたいですか。

図 - 1

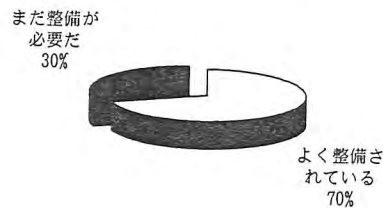
図1 また四角岳に登りたいですか



◆ 登山道の整備状況について

図 - 2

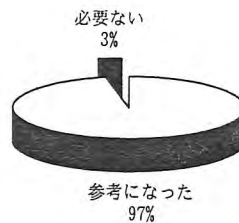
図2 登山道の整備状況について



◆ 営林署の職員によるガイドには

図 - 3

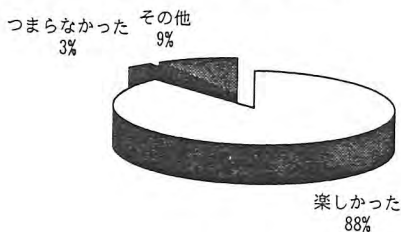
図3 営林署職員によるガイドについて



◆ 今回のイベントについては

図 - 4

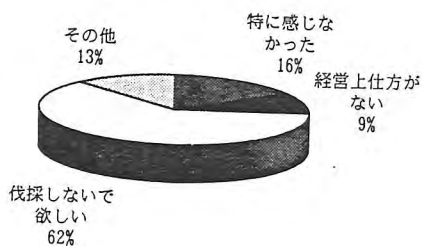
図4 記念登山について



◆ 登山道脇の伐採跡地については

図 - 5

図5 伐採跡地について



(2) アンケートの結果は以上のほか、次のような意見が出されている。

また、行政側・山の会から聞き取りすると。

○一般意見として

- ・四角岳周辺は択伐中心に実行して欲しい
- ・伐採後の景観を考慮して欲しい
- ・計画伐採も必要であるが、守り続けることも検討されたい
- ・中岳(四角岳より1.1km 西側1024m)への縦走路が欲しい
- ・野草を大事に管理して欲しい
- ・バードウォッチング、きのこ、山菜取りのガイドをしてほしい
- ・山頂で四方が望める展望台と山々の説明図
- ・登山道入り口までは車で乗り入れられるので、車両進入禁止にして欲しい

○行政の意見

四角岳登山道整備による反響には正直驚いている。今後は、入山者の増加が予想され。これに伴い、ごみの投げ捨て、高山植物の盗採等による環境破壊の問題が生じると思われる。町の財産として現状を維持していきたいが具体的な方法は模索中である。現時点で考えているのは、

- ・現在の状態を写真に残したい。
- ・山でのマナーの向上のための活動を行う。年二回程度の清掃登山を計画したい。
- ・山でのイベント等を行う上での活動拠点として管理棟を設置したい。

○山の会の意見

- ・田子町の主要道路から四角岳登山口までの道路案内標識の充実。
- ・登山口までの道路を普通乗用車でも通行できるようにする。
- ・登山口付近での湧き水の確保。
- ・四角岳山頂から中岳への登山道の整備。
- ・林道に迷うところがないようにする。



〔町職員と合同の案内板設置〕



〔森林インストラクターのガイド〕

4 考察

(1) アンケート結果を再整理すると

- ①中岳(1,024m)までの縦走路の新設
- ②登山道に至までの既設林道の整備
- ③案内板設置(国道及び主要道路)
- ④高層湿原の保全



〔登山道の標識設置〕

(2) 具体的な施策について

★ 営林署は山のプロ(林業だけではなく山そのものに関する)として

アドバイスを積極的に行い団体をリードしていくような活動を行う。

★地元の子供会、山の会、地元住民を主体とした団体は四角岳は自分たちの山であるという意識はきわめて高く、四角岳の素晴らしさが保たれるように願っている。それらを四角岳応援団の実行母体として署を交えた定期的な会合を持ちイベントを企画しマナーの向上に努める。

★登山道整備による影響を的確に把握するため、定点観測を行う。

- 登山道入口
- 登山道(六合目尾根)
- 山頂の高層湿原

※ 以上3点に定点観測の表示をして植物、ゴミ等の変化状況を記録する。

これを3年間続け、定点観測の結果が悪ければ入林者に対する規制を考えてゆく

★パンフレットの充実

パンフレットの動植物記録を更に充実するための調査

(仮称「四角岳応援団」の活動の一環として実施する。)

———— ☆ さ い ご に ————

国有林のPRとして、国有林野内のクリーン作戦、郵便局と共同で「迷ヶ平」自然休養林の清掃、田子町と「みろくの滝」看板とりつけなど実施してきている、特にマスコミの対応にあっては緊密な連携により、イベント活動等を好意的に報道してもらう体制が構築されている。(以上の他、植樹祭をはじめゴミ不法投棄禁止、安全大会、山の神、森林教室)四角岳記念登山の様子はそれら一連の中で最も大きく取り上げられている。

しかも、田子町のケーブルTV(公社)により、四角岳の豊かな自然が長時間にわたり放送されるに及び、国有林に多くの関心が寄せられ営林署にビデオを貸してほしいなど多数の問い合わせがあった。

これらはマスコミによるPRの重要性を示すもので、今後、四角岳の環境維持のために四季を通じた自然の魅力を早期に取材し、登山道開設後の四角岳の変化を観察し、環境の変化の警告を含め報道をしてもらう必要がある。

青森・岩手・秋田にまたがる四角岳(標高1003)

田子側に登山道 完成

有志80人が初登頂

名山一望「分水嶺」を実感



四角岳の頂上で3県を見渡す参加者たち

青森、岩手、秋田の三県にまたがる四角岳(標高1003)に登山道ができた。このほど約80人が参加して初登山が行われた。

四角岳は深く、昔から「三、神祕的な山」として知られていた。登山道は、上まき、五、五の登山道を、初登、初めて登山ができた。

町の水木林道の終点から頂上まき、五、五の登山道を、初登、初めて登山ができた。参加者の感想

頂上はあいにくだが、北西に南には岩手山や頂がうすうすと見えた。参加者の感想



デーリー東北

1995年(平成7年)10月19日(木曜日)

頂上まで3・5キロ、1時間半

四角岳(田子)に登山道開設



新しい登山道を踏みしめ1003標の頂上を目指す参加者

三戸郡田子町にある青森、岩手、秋田の三県にまたがる四角岳(標高1003)に登山道が開設され、十五日には地元田子町民約八十人が初登山を行い、頂上から三県を見下ろし登山道の開設を祝った。

町民ら80人が記念登頂



三戸町民ら約八十人が参加して初登山が行われた。このほど約80人が参加して初登山が行われた。

登山道を拡幅、歩きやすくしたほか、頂上付近のツマザサを切り払い、広場を設けた。登山道入り口には、駐車場を整備、登山道四力所に案内板を設置するなど安心して歩けるよう整備を重ねてきた。

デーリー東北

緑豊かな憩いの場に

三戸営林署

田子の親水公園で山ツツジなど植樹

三戸営林署(古川町)と三戸町、三戸郡田子の町との連携で、約二百五十人の参加者が山ツツジ、シラカバなどを植えた。



園で行われ、約二百五十人の参加者が山ツツジの花である山ツツジをカエデ、シラカバなどを植えた。同署では緑豊かな山づくりと田舎の景観の創出を目的に、管内十市町村のうち、田子の町にある山ツツジの親水公園を緑豊かな憩いの場にしようと、田子の町と連携して、約二百五十人が参加して、山ツツジ、シラカバ、アカシなどを植えた。同署では緑豊かな山づくりと田舎の景観の創出を目的に、管内十市町村のうち、田子の町にある山ツツジの親水公園を緑豊かな憩いの場にしようと、田子の町と連携して、約二百五十人が参加して、山ツツジ、シラカバ、アカシなどを植えた。

1995年(平成7年)6月22日(木曜日)

デーリー東北

参加者による植樹の様子

三戸営林署(古川町)と三戸町、三戸郡田子の町との連携で、約二百五十人の参加者が山ツツジ、シラカバなどを植えた。同署では緑豊かな山づくりと田舎の景観の創出を目的に、管内十市町村のうち、田子の町にある山ツツジの親水公園を緑豊かな憩いの場にしようと、田子の町と連携して、約二百五十人が参加して、山ツツジ、シラカバ、アカシなどを植えた。

迷ヶ平周辺でクリン作戦

三戸郵便局

三戸郵便局(三戸)は、六月十六日、観光名所・迷ヶ平の道路沿いやキャンプ場周辺などでクリン作戦を行い、空き缶やペットボトルなどのゴミを回収した。クリン作戦に参加したのは、三戸、田子、陸奥市、三戸郡の三戸地区集配郵便局で、参加者も合わせて約四十人、迷ヶ平に集合した後、三班に分かれ、迷ヶ平周辺を巡回してゴミを回収した。



迷ヶ平周辺でゴミ回収の様子

東 興 日 報

1995年(平成7年)9月4日(旧 8月10日) 月曜日 (日)

きれいな水生む森を汚さないで

三戸営林署が登山道に看板設置
三戸営林署は、花木道終点の四角岳登山道入り口と、国道104号沿いの白萩平、迷ヶ平登山道入り口の三方所に、この不法投棄防止を呼び掛ける看板を設置した。写真、同署は六月末、国有林の中の国道や林道でクリン



アップ作戦を実施したが、が、虹(じ)をイメージした半信(ま)再び空き缶などのゴミが散らばっている。大切な水を守るため、水源かん養保安林にゴミを捨てないよう呼び掛けている。同署員で第一美術協会正会員の田村まことさん

三戸郵便局(三戸)は、六月十六日、観光名所・迷ヶ平の道路沿いやキャンプ場周辺などでクリン作戦を行い、空き缶やペットボトルなどのゴミを回収した。クリン作戦に参加したのは、三戸、田子、陸奥市、三戸郡の三戸地区集配郵便局で、参加者も合わせて約四十人、迷ヶ平に集合した後、三班に分かれ、迷ヶ平周辺を巡回してゴミを回収した。

